



# よつわ

令和2年 7月 17日

柏崎市大字安田1455

電話：22-4315

FAX：22-1518

E-mail：tajiri@kenet.ed.jp

## 安全確保と活動保障の間で

校長 三宮 一行

真夏のような日差しが照り付けたかと思うと長雨で気温が上がらない日が続いています。毎年梅雨時は体調管理に気を遣いますが、新型コロナウイルス感染症が再び拡大している地域もあり、保護者の皆様は、例年以上にお子さんの健康状態を注意深く見てくださっていることと思います。ありがとうございます。

文部科学省の示す「学校の新しい生活様式」に改訂版(Ver.2)が出されました。(概要は3ページをご覧ください)。そこではマスクについて「基本的には常時マスクを着用することが望ましい。」とした上で、「①十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ありません。②熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外してください。(熱中症への対応を優先)③体育の授業においては、マスクの着用は必要ありません。」としています。

これを踏まえ、学校では、熱中症は命に関わる危険があるという認識のもと、暑さで息苦しいと感じた時などにはマスクを外すよう指導しています。気温が上昇している今の時期は感染予防と熱中症予防という相反するものの両立に十分に配慮をしていく必要性を強く感じています。

教職員もマスクを着用した状態で45分の授業を続けることが、場合によっては危険な状態にもなります。身体的距離に十分配慮しながら一時的にマスクを外すこともあることをご承知おきください。

さて、7月8日(水)はフリー参観日でした。今年度、ようやく保護者の皆様に子ども達の様子を見ていただくことができました。今回は密集状態にならないよう、時間を特定せずそれぞれ都合の良い時間帯においていただきました。加えて、事前の検温や玄関での手指消毒、身体的距離の確保等様々なご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

おかげさまで、子ども達は、数々の制約がある中でも前向きに学習に取り組み、友だちと協力し合い、係や委員会活動に励んでいます。中でも、児童会総務委員の子ども達は「このような状況の中で、どう工夫したら活動できるか。」「このような状況だからこそ私たちにできることはないか。」と考えてくれています。3ページで紹介している「よつわっ子七夕会」はその考えによって企画されたものでした。ふれあい班(縦割り班)で少人数ごとの活動でしたが、ほのぼのとしたとても温かい集会でした。総務委員会では、さらに次の企画も考えているとのこと。非常に頼もしいリーダー達です。子ども達の快活さやたくましさは、私たち大人も教えられることが多いです。そうした姿にふれるたび、子ども達の安全確保と活動保障という相反するものを両立させていく必要性を強く感じます。日々報道される新型コロナウイルス感染者数に気を引き締めながら、学校でできること、学校だからできることを子ども達と共に考え、実施していきたいと思えます。